

# オレンジリボン・児童虐待防止推進 キャンペーン

11月

全ての子どもは、「児童の権利に関する条約」の精神にのっとり、適切な養育を受け、健やかな成長・発達や自立が図られることなどを保障される権利があります。子どもの健やかな成長に影響を及ぼす児童虐待の防止は社会全体で取り組むべき重要な課題です。

## 1. 知っていますか？オレンジリボン運動の起源

### オレンジの起源



2004年、栃木県小山市で3歳と4歳になる二人のきょうだいが父親の友人から再三にわたって暴行を受け、息も絶え絶えの状態、橋の上から川に投げ込まれて幼い命を奪われるという痛ましい事件をきっかけに、全国でオレンジリボン運動が始まりました。

「子どもへの虐待をなくしたい」という志のもとに、全国で共通したシンボルとするために、目指すべき目標（オレンジリボン憲章）を定めました。

このオレンジの色は里親家庭で育った子どもたちが「子どもたちの明るい未来を示す色」として選んだといわれています。その胸の中に、オレンジフルーツのような明るさと暖かさを感じたいという思いがあったのではないのでしょうか。

## 2. スウェーデンの取組から子どもの人権を考える

### 法整備から40年

#### 1979年スウェーデン親子法の改正

⇒子どもへのあらゆる形態の体罰またはその他の精神的虐待に当たる取り扱いの明確な禁止

#### 養育者、妊婦へ

⇒「あなたはお子さんを叩かずにうまく育てられますか？」と題した法務省の冊子を子どものいる全家庭に配布（法暴力を使わない育児法に関するアドバイスと支援）

#### 家庭（親・子ども）へ

⇒家庭内での意識向上と議論を促すため、牛乳パックへ情報を印刷

### スウェーデンの状況が大きく改善！

#### 体罰に対する肯定的な態度の割合の変化

1960年代 90% ↑ → 2010年代 80% ↓ 10%



体罰に対する認識を変えることが大切なのだー！

グラフ画像：「子どもに対する暴力のない社会を目指して」2014年公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

## 3. 児童虐待についての現状と対応について

### 児童虐待とは



児童虐待は社会全体でかかわり、解決していくべき問題です。

児童虐待による死亡事件は年間70件を超えています。

年間70件以上、累計計算するとー

5日間に1人の子どもが命を落としていることになります。

子どもの権利をみんなで守ろう！



～子どもが持っている権利～

1990年に発効し、1994年に日本も批准した「児童の権利に関する条約」では、あらゆる形態の身体的・精神的な暴力や不当な取り扱い等を防ぐための措置を講ずることとされています。子どもへの暴力は子どもの持つ様々な権利を侵害することから、日本でも法律で児童虐待等を禁止しています。

### 子どもがもっている4つの権利



令和5年度「滋賀県子ども・若者育成支援推進強調月間」スローガン

たくましく 伸びよう 伸ばそう 湖国の子

わずかなSOSも見逃さない「気づき」が子どもを救うことにつながるのだー！



参考資料：子ども家庭庁HP、「子どもに対する暴力のない社会をめざして」(Save the Children)、「体罰等によらない子育てのためにーみんなで育児を支える社会に」(厚生労働省)、「令和4年度滋賀県における児童虐待相談対応等の状況について」(子ども・青年局)、「令和5年度「滋賀県子ども・若者育成支援推進強調月間」実施要綱」

### 滋賀県の相談件数



R4の相談件数は7,901件で、前年度比400件の減(Δ4.8%)となっています。(センター2,586件+市町7,889件-2,574件(連携分)=7,901件)

### 育児における工夫のポイント



逆恨みされるとイヤだしな…

他人の家のことだしな…

あれって虐待かな…

あんな言い方しなくてもいいのに…

でも、動違いかも…

しつげにしては厳しすぎるような…



どうしたらいいかわからないし…

子どもを虐待から守るのに、理由はいらぬい。

情報提供や相談を!! / いちはやく  
まずは連絡 **189**

匿名可能 通話無料 秘密厳守

\*「児童相談所 虐待対応ダイヤル」お住まいの地域の児童相談所につながります\*



しつげ? 体罰? これってどっち??

[特設サイトでCHECK]



子ども虐待防止

子どもを守る、社会をめざして。

子ども家庭庁